

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年12月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676300173
法人名	有限会社 すりい
事業所名	グループホーム ふれあい館
所在地	鹿児島県曾於市大隅町月野3486-6 (電話) 099-482-5333
自己評価作成日	令和 1年 11月 18日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年12月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・「ゆったりとさりげなく住み慣れた地域の中であなたがあなたらしく」の基本理念を念頭におきながら、利用者様の思い、家族の思いに寄り添う努力をして支援を行っております。

・職員のチーム力を生かし、「信頼」「協力」「理解」を心がけ、日々の認知症介護に精進する努力をしています。

・地域の福祉資源の一つとしての役割を意識して、「何ができるか」を考えながら地域貢献に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念をフロアと事務所の目に付くところに掲示して意識付けを図るとともに、理念にある「あなたが、あなたらしく」の文言を大切に考え、日々、利用者へと接している。また、管理者は、利用者が不利益を被らないよう、利用者中心の接遇を目指す一方、職員についても、職員が職員らしく、利用者に向き合いながら最良の支援につなげてもらいたいと努めている。

年2回、身体拘束に関する研修会を実施するほか、身体拘束廃止委員会による話し合いを年4回実施し、職員会議や申し送り時に報告している。行動を制限させてしまう言葉による拘束についても十分話し合い、例え、安全を優先させるための声かけであった場合でも、職員間で対応の仕方を確認し合うようにしている。

年2回の災害訓練のほか、自主訓練として、初期消火の手順や通報手順、避難経路の確認等、毎月テーマを決めて訓練を実施することで、万一の時に備えている。また、今後は地域住民にも参加してもらったり、地区の消防分団との連携も図りたいと計画している。

毎日の食事については、旬の野菜や利用者の食べたい物が食べられるよう、当日メニューを決めて調理している。ユニット毎でメニューが異なるため、利用者の好き嫌いに応じて、交換することができるなどのメリットもある。また、季節行事に合わせたメニューの提供や誕生会にはケーキを手作りするなど、食べる楽しみを大切に考え支援している。

<1階>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念はわかりやすい言葉にして、提示している。毎朝、1階2階合同の申し送りをし、共通認識を持つように努力している。	「住み慣れた地域の中で」という文言が盛り込まれた理念を、フロアや事務所の目に付くところに掲示し意識付けを図っている。利用者にとって不利益にならない生活を支援したいと考え、日々実践につなげている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	高齢化・重度化により、中々地域へ出向くことが少なくなっている現状があるが、地区の婦人部が慰問に來たり、お菓子の差し入れなどしてくれ、交流の機会となっている。	高齢化により外出が難しくなりつつあるが、小学生との七夕飾りの作製や、大学生による職場体験を受け入れるほか、婦人部の慰問や地区の消防分団と連携を図るなど、地域との付き合いを大切に考え、積極的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地区の小学校への福祉講座、社協依頼の共同募金の分配審査員、心配ごと相談員連絡会、インターシップ事業への協力など地域貢献に努めています。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を行い意見交換を行っています。運営等に関する意見などでた時は職員と協議し、迅速に対応するように努めています。議事録は必ず送付しています。	会議には、家族や民生委員、住民代表、行政職員等が参加し、利用者の状況や行事、活動内容等について報告している。参加者からは、転倒防止や消防団との連携について意見が出され、改善策や工夫できることを話し合うなど活発に意見交換がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政主催の勉強会へも積極的に参加している。また、運営上の疑問や困りごとなど生じた場合でも、すぐに相談し助言等を頂いている。	利用者への対応についてや、運営する上で疑問を感じた時は、電話や行政に出向くなどしてアドバイスをもらっている。また、包括支援センターとも連携を密に図っており、行政主催の研修会や他職種連携を図りながら協力関係を構築している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員へ日頃より徹底して伝える努力をしている。施設内でも定期的に勉強会をし、共通認識を高めるように努めている。	年2回、身体拘束に関する研修会を実施するほか、身体拘束廃止委員会による話し合いを年4回実施し、職員会議や申し送り時に説明、報告している。言葉による拘束については、行動を制限させるような言葉かけにならないよう、職員間で繰り返し話し合い確認している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員へ日頃より徹底して伝える努力をしている。施設内でも定期的に勉強会をし、共通認識を高めるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会へ参加し施設内の勉強会に生かす努力をしています。また、困りごとなど生じた場合は、行政や包括支援センターに相談・助言を頂きながら対応するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は、重要事項説明書、サービス利用契約書、同意書等にて説明を行い、利用者様の思いも含め、ご家族の了解を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から利用者様、ご家族の要望や思いを意識して聴くように努めています。外部評価のない年は、家族アンケート（無記名）を行い、家族の要望や意見を伺えるように取り組んでいます。アンケートの結果も家族へお知らせしています。</p>	<p>本人の様子や言葉、また家族からの情報を参考にしながら、日々接する中で対応を考え支援につなげている。遠方の家族が多く面会が少ないため、毎月「ご利用状況報告書」を作成し、写真を添えて送付しており、意見や感想を伺う機会につなげている。また、電話やラインで近況を報告したり要望を尋ね、運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃から職員の意見や提案を汲み取るように努めている。必要に応じて個人面談の場も作り相談等に応じている。</p>	<p>職員会議や申し送り時のほか、日常の何気ない会話から意見や要望を聞く機会は多く、必要に応じて個別面談も実施している。また、外部研修への参加や休日取得についても、職員の希望を尋ね、可能な限り対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の要望等を含め、柔軟に対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得や研修参加の推奨など支援をしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内のグループホーム協議会に参加し、他のグループホームとの交流会や情報交換を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>相談の段階から、情報収集をし、本人との関係を築けるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談の段階から、情報収集をし、家族との関係を築けるように努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時点から情報収集に努め「今、何が必要か」を見極めた対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は「共に生活をする家族(仲間)」の思いを持ちながら、日々の暮らしの中で感情を共有しあう関係を大切にして支援をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いを受け止めながら、家族と共に利用者の生活を考えるように支援をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者と馴染みの関係性が途切れることなく、できるだけ要望に沿えるように支援をしています。（家族との外出や外泊、知人との面会など）	入居時に家族関係を含む人間関係を詳しく聞き取り、把握した上で入居後の支援方法を話し合い、方針を決めている。高齢化に伴い、馴染みの場所に出かけたい要望は聞かれなくなったが、知人や友人の面会は続いており、楽しい時間を過ごしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの個性を見極めて、利用者様同士の関係作りにも努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院等でサービス利用（契約）が終了しても、その時の状況に応じて、支援を継続するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	高齢化、重度化しつつある中、日々の関わりで何気ない言葉、思いやしぐさなど見逃さず、本人の思いを汲み取る努力をしています。	本人の思いや希望を、日々の言動や表情等、様子から汲み取り、経過支援や業務日誌に記入することで情報を共有している。また、状態の変化に早く気付けるよう、職員同士で声をかけ合いながら利用者を見守るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	得られた情報だけでなく、日々の関わりの中で「本人らしさ」を生かせる場面を作るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃から一人ひとりの生活リズムを把握しながら、本人が望む生活ができるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活で利用者様、ご家族の思いを汲み取りながら、介護計画を作成しています。カンファレンスやモニタリング、担当者会議なども定期的に行い、利用者様、ご家族、担当医、職員の意見を反映するように努めています。	本人、家族の思いや意向を基に、カンファレンスやモニタリング記録を参考にしながら介護計画を作成している。また、受診時に把握した医師の意見を組み込むなど、関係者の意見も大切にしながら介護計画に反映させており、医師も参加する担当者会議を経て、関係者全員に介護計画書を交付している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録や業務日誌だけでなく、毎朝1階2階合同の申し送り時に気づきや話し合いを行い、介護実践へ繋げるようにつとめています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりのニーズに対し、柔軟且つ最大限に取り組むように努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人の意向を取り入れながら、関係機関と協力しながら、取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関と連携を図り、本人、家族の要望に柔軟に対応するように努めています。</p>	<p>月1回協力医療機関の医師が訪問診療に来られることもあり、現在は本人、家族の意向により全員が協力医療機関をかかりつけ医として支援を受けている。他科受診については、病状等に応じて家族と職員が連携して受診につなげている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃から、協力医療機関と連携を取り、医療面、健康面の相談を行っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>医療機関と連携を図りながら、その時に必要な支援を行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>医療連携加算は取っていないため、基本的に「看取り」は行っていないが、本人や家族の意向があれば、医療機関や訪問看護機関と連携を図り取り組んでいます。また、日頃より家族とも状態変化時の対応等についても話し合うようにしています。</p>	<p>重度化や看取りの指針に代わり「延命措置に関する意思確認書」を作成して説明し同意を得ている。基本的に看取りは行わない方針だが、医療を必要としない自然死を希望された場合は、家族や医師等、関係者と話し合いを繰り返しながら連絡を密に取ることで、最良の方法を選択し支援につなげている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は、定期的に救命救急講習を受け、心肺蘇生法の訓練を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回の防災訓練・通報訓練だけでなく、月一回の自主訓練も行いながら防災への意識向上を図っています。非常時には地域へ開放できる施設としての役割を担うように努力しています。</p>	<p>年2回の災害訓練のほか、毎月、通報手順や避難経路、初期消火の手順を確認するなど自主訓練を実施している。備蓄については、飲料水や米、レトルト食材を数日分程度準備するほか、ヘルメットや担架、利用者と一緒に作った防災頭巾等を備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、言葉かけや対応には配慮しているが、時折不十分な場面もある為、繰り返さないように努めています。	プライバシー保護や倫理に関する研修を年1回実施し、プライバシーを損ねない声かけや羞恥心に配慮できるよう努めている。守秘義務については、入居時に「個人情報利用同意書」を説明し同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の状況に応じて、要望や気持ちを伝えることができるように言葉かけを行い促しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は決めておらず、利用者様がそれぞれ自由に「自分らしく」過ごせるように支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	地域の理容店へ訪問を依頼したり、行きつけの美容室への利用を支援しています。（送迎等）		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事の際に、好みを聞いたり、季節の物、行事に合わせた献立を提供しています。また、食材の下ごしらえを手伝ってもらっています。	肉や魚、野菜など、常時食材を揃えているため、食べたい物や旬の物を利用して当日メニューを決め調理している。高齢化に伴い、以前のように調理を手伝う方はいないが、同じメニューを職員と一緒に会話を楽しみながら食べている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好み(好き嫌い)、摂取量に配慮しています。また、代替の食品や形態にも工夫、配慮をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	チェック表を用いて対応しています。また、本人に合わせて支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェック表を用いて対応しています。日中、夜間等、それぞれの状況に合わせて支援を行っています。	排泄の意思を伝えられる方が少なくなってきたが、日中はトイレに誘導することで、リハビリパンツやパットに頼らない支援を行っている。これらの支援を職員全員が共通認識の下で対応できるよう介護計画に組み込み支援につなげている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表を用いて対応しています。便秘薬服用の際は、主治医へ相談行い、水分補給や摂取量の把握をしながら支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めていません。利用者様の要望に対応できるように努めています。入浴の際も、ゆっくりと楽しめるように努めています。	特に入浴日や時間を設定しておらず、入浴したい時に自由に入浴できるよう支援している。入浴後は保湿剤を塗布したり、水分摂取にも気を配っている。入浴後の飲み物を楽しみにしている方もおられる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝、起床時間は決めておらず、一人ひとりのリズムに合わせて安心してゆっくり休めるように支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	チェック表にて対応をしています。服用困難な場合は、主治医や薬剤師に相談を行い、服用できるように支援を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの「できる力」「できる事」を実行、活用できるように、声かけや気分転換等に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人やご家族からの要望、依頼があった場合は外出・外泊等の支援（付き添い、送迎等）を行っています。	高齢化に伴い外出の要望はあまりないが、希望があれば家族と協力して外出を支援している。主な外出先としては、桜や芝桜等の季節の花見のほか、小学校の運動会見学や、「やごろう祭り」など、年間行事計画に組み込み出かけている。また、お寺参拝など、個人の希望する外出先には家族が同行しているが、難しい場合は職員が支援することもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人やご家族の要望に応じて支援を行っています。金銭管理においては、事務所の協力を頂いています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族、知人からの電話に本人が話せるように支援を行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた華等をテーブルに飾ったり、壁面に大きなカレンダーで季節感を取り入れている。</p>	<p>ホームは、エレベーターを備えた2階建てになっており、各ユニットには季節の作品や飾りが掲示され明るい雰囲気が感じられる。また、周囲が一面茶畑で眺めがよく、気持ちよく過ごせる環境にある。1階にはウッドデッキを備え、2階には広いベランダがあり、外気浴を楽しむことができる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにおいて、馴染みの利用者様同士でおしゃべりを楽しめるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使い慣れた物、愛着のある物を持参できるようにしています。また居室内も居心地良く安全に移動できるように配置しています。</p>	<p>エアコンとベッド、棚が備え付けられ、ベッドはすべて介助用の電動ベッドである。ポータブルトイレは日中使わない時はシートで覆うなど、外部の目につかないよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様が「自分でできる事」や「分かる」ようにプレート等を使用して安全に目的の場所に行けるように工夫をしています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない